



平成 18 年 11 月 2 日

各 位

東京都渋谷区恵比寿一丁目 19 番 19 号

株式会社オールアウト

代表取締役社長兼 CEO 江幡 哲也

(コード番号：2454)

問い合わせ先 経営企画部 ジェネラルマネージャー 西村俊彦

電話 03-5447-3700

前年同期の実績値との差異に関するお知らせ

平成 19 年 3 月期中間（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）の実績は、前年同期の実績値に対して、下記のとおりとの差異となります。

記

1. 前年同期の実績値との差異

単位：百万円

	売上高	経常利益	中間純利益
平成 18 年 3 月期 中間実績 実績 (A)	1,364	42	39
平成 19 年 3 月期 中間実績 予定 (B)	1,669	166	135
増減額 (B - A)	304	124	96
増減率	22.3%	291.8%	246.5%

2. 差異に関して、当中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）の概況

当中間期におけるわが国経済は、原油価格の動向等の懸念材料はあったものの、企業部門の収益の拡大や旺盛な設備投資等により景気の回復が継続するとともに、雇用環境も引き続き大幅な改善が続いております。それに伴い、個人消費も堅調に推移し、景気は緩やかな上昇基調を維持しております。

そうした中で、当社が事業を営むインターネット関連市場においても、電子メールやイーコマース等の従来より利用されているサービスに利用者拡大に加え、ブログやソーシャルネットワークワーキングサービスといった消費者参加型メディアの利用者が大幅に拡大しており、このような「Web 2.0」と称される新たな潮流としてのインターネットサービスが世の中に大きな影響を与える中で、引き続き高い成長を見せております。

一方で、テレビを中心とするマスメディア広告需要は前年を下回る見通しであり、広告市場全体でも広告出稿量は、前年比微増の見込みとなっております（野村証券金融経済研究所作成 2006 年 10 月 25 日付レポートより）。そのような状況下において、当社の主力事業であるインターネット広告市場は、当期においても引き続き一定の成長を見せているものの、前年度以前の高い成長率に比べますと、広告市場全体の動きに合わせるように、広告主からの出稿額増加に鈍化が見られる状況となっております。

このような状況の下、当社は、拡大する市場に対応するべく人員を増強し、独自性のある商品の販売に力を入れながら引き続きインターネット広告事業の拡大に注力するとともに、新ガイドサイトの立ち上げや当下期に立ち上げが予定される新領域ライフスタイルメディアの開発等メディアの強化に努めました。さらに、前年度より開始した「スタイルストア事業」及び「プロフィール事業」について、事業基盤を整備するとともに販売の促進に努め、収益の拡大を図ってまいりました。

さらに、システム開発体制の強化や編集制作体制の強化を目的として、事業上協力関係にある取引先に対する投資を行うとともに、平成 18 年 8 月には、金融サービス事業子会社「株式会社オールアバウトフィナンシャルサービス」を設立するなど、積極的な事業展開及び戦略的な投資を行ってまいりました。

当中間期における事業別の活動は、以下のとおりです。

（インターネット広告事業）

当社の主力事業であるインターネット広告事業は、インターネット業界において一般的であるバナー広告を中心とした「見せる広告」（インプレッション広告）、「クリック送客型広告」（トラフィック広告）だけでなく、メディア企業である当社の編集ノウハウを活用した広告である「エディトリアル広告」および「スポンサードサイト」の比率の高さに特徴を有しております。

当中間期におきましては、拡大するインターネット広告市場の中で、広告代理店との関係構築に注力し販売力の更なる強化を図りながら、特に編集型広告（上記商品のうち、「エディトリアル広告」および「スポンサードサイト」）の販売に注力し、販売を伸ばした結果、インターネット広告事業における売上高は、1,616 百万円（前年同期比 119.2%）となりました。

インターネット広告事業における商品別の売上高は、以下のとおりです。

商品区分	平成 17 年 9 月中間期 (百万円)	広告商品 構成比率 (%)	平成 18 年 9 月中間期 (百万円)	広告商品 構成比率 (%)	増減率 (%)
インプレッション広告	90	6.7	119	7.4	32.2
トラフィック広告	346	25.5	378	23.4	9.4
エディトリアル広告	458	33.8	606	37.5	32.4
スポンサードサイト	287	21.1	383	23.7	33.5
その他	174	12.9	128	8.0	△26.3
合計	1,356	100.0	1,616	100.0	19.2

(スタイルストア事業)

「スタイルストア事業」は、これまで当社が「All About」の運営において培ってきた編集力を活用し、カスタマーに対して、ライフスタイルや利用シーンの紹介にあわせて商品を販売してまいりました。また、こだわりをもって少品種・少量生産を行っている全国のクリエイター「つくり手」を組織化し、その結果、当中間期末時点において 135 名の「つくり手」から商品提供を受けております。

さらに、既存の取引販売会社との関係性を強化するだけでなく、新規の取引販売会社の開拓にも努め、当中間期末時点において 200 社を超える取引販売会社から 3,300 種類に及ぶ商品提供を受けております。

以上の結果、当中間期における「スタイルストア事業」における売上高は、32 百万円（同 400.7%）となりました。

(プロフィール事業)

「プロフィール事業」は、当社が「All About」の運営において「ガイド」という専門家をネットワークしてきたノウハウを活かし、様々な専門家とライフスタイルにこだわりを持つ一般消費者とを結びつける場を創出する専門家マッチングサービス事業です。「プロフィール事業」は、平成 17 年 11 月の事業開始以降、「住まい」・「マネー」関連領域を立ち上げ、平成 18 年 9 月には、「法律」・「ビジネス」・「キャリア」関連領域に関するサービスを追加し、平成 18 年 9 月末時点において 333 名の専門家に出席いただいております。

以上の結果、当中間期におけるプロフィール事業における売上高は、20 百万円となりました。

この結果、当中間期の業績は、売上高 1,669 百万円（同 122.3%）、営業利益 166 百万円（同 248.5%）、経常利益 166 百万円（同 391.8%）となりました。また、本社移転に伴う固定資産除却損の計上等により特別損失を 36 百万円、法人税等調整額を△8 百万円それぞれ計上したことなどにより、当中間純利益は 135 百万円（同 346.5%）となりました。

以上